

地域ネットワークニュース

～平成22年3月の勉強会のお知らせ & 2月の勉強会報告～

第149回地域ネットワーク勉強会

「千葉県における障害者の地域生活支援」

～中核地域生活支援センターの役割と機関連携～



講師：中核地域生活支援センター海匝ネットワーク
白井正和氏（社会福祉士）

3/9 (火)

19:00～

保健福祉会館
研修室

福祉施策はこれまで、子ども、障害者、高齢者等対象別に分かれ、これら福祉に関する相談事業も各々の対象者毎に行われてきました。しかし、これらの相談内容は複合していることが多く、総合的な相談受付や緊急時の迅速な対応などが求められています。

千葉県では対象者を分けることなく一元的に相談を受け、マネジメントを展開する健康福祉千葉方式を推進し、福祉の総合相談機能・権利擁護機能・地域生活支援機能を併せ持った民間サイドの拠点となる「中核地域生活支援センター」を平成16年に保健所圏域に一カ所ずつ設置（全13カ所）しました。

中核地域生活支援センターは、誰もが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことができる地域社会を実現するために、地域住民からの様ざまな相談に対応できる体制と、実際に権利侵害が発生している可能性がある場合に対応し権利を守る体制の一元化に向けて、全国的に注目を集めている行政施策で、NHK等のメディアでも紹介されています。

そこで、今回の勉強会では、海匝地域（銚子市・旭市・匝瑳市）を圏域とする海匝ネットワークの白井正和氏を迎え、複合的に課題を抱える世帯への課題解決に向けての関係機関の連携のあり方と、社会的に弱い立場にある方々への権利擁護について、具体的事例を交えて伝えて頂きます。

隣のまちの福祉 について学んでみませんか。みなさんの参加をお待ちしております。

第148回地域ネットワーク勉強会報告 平成22年2月27日開催 <参加者112名>

発達障害を持つ子の「いいところ」応援計画 ～子どものほめ方・叱り方・励まし方～

【所沢市教育委員会学校教育課健やか輝き支援室支援委員 阿部利彦氏】

今回で3回目となった阿部利彦先生講演会は、先生の暖かい雰囲気にも囲まれ、参加者も肩の力を抜いて、楽しみながら聞いている様子でした。

怒られてばかりいたり、逆に過剰に褒められたりすると、子どもは失敗できない ちゃんとしなきゃ いつも一番でなきゃ…と失敗することがダメなことと誤ってしまったり、萎縮してしまうことがあります。

褒めるときは具体的な行動を褒めてあげること、叱るときは感情的にならずに、よい方向へ導いてあげることが大切であること、分かっているようでついやってしまうことを見直すいい機会でした。

また、配慮を必要としている子どもがどんな場面で苦勞しているのか、迷っているのかを体験するチャレンジコーナーもあり、気持ちを受け止めることの大切さを感じました。

今回の講演会のように暖かさを感じ、楽しみながら学べる環境が、子どもたちが集まる場や家庭の中にあれば安心して過ごせるのでは、と肌で感じる事ができた、心地のよい講演会でした。

